

食中毒・集団胃腸炎の行政検査を受けられた方へ

当所では、食中毒および集団胃腸炎の発生時に、保健所からの依頼に基づき、病原微生物および原因物質の検査を行っています。提供された検体の検査結果は各保健所を通してお返ししています。

本事業でご提供いただきました検体や情報及び分離した菌株・ウイルス株につきましては、検査終了後、研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました検体や分離菌株・ウイルス株の情報は匿名化処理を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

- 研究課題名

国内で多発するカンピロバクター食中毒の定量的リスク分析に関する研究(1802-02-3)

- 研究期間

令和3年4月1日から令和6年3月31日

- 検体採取期間

平成15年4月1日から令和6年1月31日

- 研究責任者

細菌課主任研究員

坂田淳子

- 研究概要

本研究では、カンピロバクター食中毒のリスク管理策を構築するために、食品中のカンピロバクターの動態を定量的に把握するとともに、臨床検査により得られた成績をもとに健康被害実態の推定、更には国内食中毒患者における発症菌数の把握等を通じ、本食中毒のリスク評価に資する科学的知見の集積をはかることを目的とします。

- 研究に用いる試料、情報の種類

試料：菌株、糞便等

情報：検体中の菌数、年齢、性別、症状、喫食歴、潜伏期、治療の有無等

- 外部への試料、情報の提供

共同研究機関へは、菌株および抽出したDNAを提供し、情報は匿名化して個人が特定されえない状態で提供します。対応表は、当所の匿名化処理担当者が保管・管理します。

- 共同研究機関

国立医薬品食品衛生研究所：朝倉宏（内閣府食品安全委員会研究班）

ご提供いただきました検体や情報が検査以外の研究に利用される事を好まれない方は、遠慮なく下記の研究企画課までご連絡ください。研究対象から除外します。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

また上記研究課題に関するご質問等につきましても、下記の研究企画課にご相談ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

研究企画課

電話番号：06-6972-1321

ファクス番号：06-6972-2393